

# TZ 〈ほんの窓〉

第59号(2021.11.25) 一橋大学附属図書館高本善四郎氏助成図書コーナー「本の紹介」班

ブックトーク 2021 関連図書展示

## 都市をつかいこなす

小さな場所から始まる社会の可能性を考える

「都市は死んだのか。」パンデミックによる都市封鎖。無観客によるオリンピック・パラリンピックの開催。想像もしなかった事態が次々起るのを私たちは目撃した。他方で、それでも何とかやっていけるのではないか。インターネットの普及もあり、そんな印象をもった人もいたことだろう。都市はその終わりに向かって、一歩を踏み出しつつあるのか。

この問いの答えはわからない。だが未来が何であれ、私たちはなお、いまある都市をつかいこなすことによってしか、今日そして明日を紡ぎ出すことはできない。そしてよく見ると、都市という道具箱にはまだたくさんの可能性が潜んでいる。Still Place Matters. オンラインの場を、街に向かって開いてみよう。

本展示では、ブックトークテキスト『都市に聴け』 および関連図書を紹介します。

ご参加お待ちしております！

ブックトーク 2021

### 都市をつかいこなす 小さな場所から始まる社会の可能性を考える

- 日時：2021年12月1日(水) 17:15～18:45  
オンライン開催！
- 講師：町村 敬志 氏（一橋大学名誉教授、一橋大学大学院社会学研究科特任教授）
- お申込：以下のフォームまたはQRコードよりお申込ください（参加無料）  
<https://hrs.ad.hit-u.ac.jp/v33/entries/add/428>
- お申込締切：2021年11月29日(月)9:00



No	書名・著者名・出版情報	請求記号
<b>&lt;テキスト&gt;</b>		
1	『都市に聴け：アーバン・スタディーズから読み解く東京』町村敬志著. 有斐閣, 2020.12.	3610:4811A
<b>&lt;関連図書&gt;</b>		
2	『モビリティーズ：移動の社会学』ジョン・アーリ著；吉原直樹, 伊藤嘉高訳. 作品社, 2015.3.	3610:4227
3	『広告都市・東京：その誕生と死』北田暁大著. 増補[版]. 筑摩書房, 2011.7. (ちくま学芸文庫；[キ17-1])	6740:346
4	『大東京繁昌記』講談社文芸文庫編；下町篇. 講談社, 2013.5. (講談社文芸文庫；こJ28)	9180:19:こJ28
5	『アメリカ大都市の死と生』ジェイン・ジェイコブズ著；山形浩生訳. 新版, 第2刷. 鹿島出版会, 2010.6.	5100:1724
6	『ジェントリフィケーションと報復都市：新たな都市のフロンティア』ニール・スミス著；原口剛訳. ミネルヴァ書房, 2014.5.	2900:308
7	『ネットワークシティ：現代インフラの社会学』田中大介編著. 北樹出版, 2017.4.	3610:4923
8	『社会的なものを組み直す：アクターネットワーク理論入門』ブリュノ・ラトゥール [著]；伊藤嘉高訳. 法政大学出版局, 2019.1. (叢書・ユニベルシタス；1090)	3610:4553
9	『Infrastructural lives : urban infrastructure in context』edited by Stephen Graham and Colin McFarlane ; : pbk. Routledge, 2015. (Earthscan from Routledge)	3610:3179
10	『都市問題：科学的理論と分析』マニュエル・カステル著；山田操訳. 恒星社厚生閣, 1984.11.	Kg:767
11	『グローバル・シティ：ニューヨーク・ロンドン・東京から世界を読む』サスキア・サッセン著；大井由紀, 高橋華生子訳. 筑摩書房, 2008.11.	3336:438
12	『東京の空間人類学』陣内秀信著. 筑摩書房, 1985.4.	Kg:776
13	『歴史的条件-現代の闘争』羽仁五郎著；[ハードカバー版]. 勁草書房, 1968.7. (都市の論理 / 羽仁五郎著)	Kg:379
14	『明治の東京計画』藤森照信著. 岩波書店, 1990.3. (同時代ライブラリー；18)	030:24:18
15	『都市空間のなかの文学』前田愛著. 筑摩書房, 1982.12.	210:551
16	『見えがくれする都市：江戸から東京へ』楨文彦他著. 鹿島出版会, 1980.6. (SD選書；162)	5100:142
17	『都市のドラマツルギー：東京・盛り場の社会史』吉見俊哉著. 弘文堂, 1987.7.	3610:942
18	『都市への権利』H.ルフェーヴル著；森本和夫訳. 筑摩書房, 1969.7. (筑摩叢書；143)	567:11
19	『都市コミュニティの理論』奥田道大著. 東京大学出版会, 1983.3. (現代社会学叢書)	3610:278

No	書名・著者名・出版情報	請求記号
<b>&lt;テキスト掲載の関連図書&gt;</b>		
19	『都市コミュニティの理論』奥田道大著. 東京大学出版会, 1983.3. (現代社会学叢書)	3610:278
20	『滝山コミュニー九七四』原武史著. 第2刷. 講談社, 2007.6.	9100:1943
21	『住民運動の論理: 運動の展開過程・課題と展望』松原治郎, 伊田貝香門編著. 学陽書房, 1976.1.	Kh:333
22	『ファスト風土化する日本: 郊外化とその病理』三浦展著. 洋泉社, 2004.9. (新書y; 119)	3610:2303
23	『通勤の社会史: 毎日5億人が通勤する理由』イアン・ゲートリー著; 黒川由美訳. 太田出版, 2016.4. (歴史カル・スタディーズ; 17)	6810:147
24	『旧軍用地転用史論』杉野罔明著; 上巻. 文理閣, 2015.10.	3900:624:上
25	『旧軍用地転用史論』杉野罔明著; 下巻. 文理閣, 2017.5.	3900:624:下
26	『首都防空網と「空都」多摩』鈴木芳行著. 吉川弘文館, 2012.12. (歴史文化ライブラリー; 358)	2110:700
27	『日本型コミュニティ政策: 東京・横浜・武蔵野の経験』広原盛明著. 晃洋書房, 2011.9.	3180:962
28	『団地と移民: 課題最先端「空間」の闘い』安田浩一著. KADOKAWA, 2019.3.	3650:455
29	『日本コミュニティ政策の検証: 自治体内分権と地域自治へ向けて』山崎仁朗編著. 東信堂, 2014.1. (コミュニティ政策叢書; 1)	3180:1315
30	『An anthropology of the machine: Tokyo's commuter train network』Michael Fisch; cloth. -- University of Chicago Press, 2018.	6820:23
31	『都市空間に潜む排除と反抗の力』町村敬志編著. 明石書店, 2013.3. (差別と排除の「いま」; 2)	3610:3820A
32	『皇室財産の政治史: 明治二〇年代の御料地「処分」と宮中・府中』池田さなえ著. 人文書院, 2019.3.	3231:1108
33	『一九六四年東京オリンピックは何を生んだのか』石坂友司, 松林秀樹編著. -- 青弓社, 2018.12.	7800:2147
34	『スポーツ社会学研究』日本スポーツ社会学会 [編]. 第15巻 (2007). 日本スポーツ社会学会, 2007.3.	7800:922:15
35	『越境者たちのロスアンジェルス』町村敬志著. 平凡社, 1999.4. (平凡社選書; 190)	0800:10:190
36	『都市』奥田道大編. 東京大学出版会, 1999.1. (講座社会学; 4)	3610:1538:4
37	『23区格差』池田利道著. 中央公論新社, 2015.11. (中公新書ラクレ; 542)	2910:399
38	『23区大逆転』池田利道著. NHK出版, 2017.9. (NHK出版新書; 528)	2910:400
39	『芝園団地に住んでいます: 住民の半分が外国人になったとき何が起きるか』大島隆著. 明石書店, 2019.10.	3650:456
40	『コトラー世界都市間競争: マーケティングの未来』フィリップ・コトラー, ミルトン・コトラー著; 竹村正明監訳. 碩学舎. (SGビジネス双書)	6750:983
41	『東京格差: 浮かぶ街・沈む街』中川寛子著. 筑摩書房, 2018.12. (ちくま新書; 1374)	3610:4925
42	『うごきの場に居合わせる: 公営団地におけるリフレクシヴな調査研究』新原道信編著. 中央大学出版部, 2016.3. (研究叢書 / 中央大学社会科学研究所編; 31)	3610:4315
43	『新・日本の階級社会』橋本健二著. 講談社, 2018.1. (講談社現代新書; 2461)	3610:4467
44	『東京どこに住む?: 住所格差と人生格差』速水健朗著. 朝日新聞出版, 2016.5. (朝日新書; 564)	3610:4924
45	『街間格差: オリンピック後に輝く街、くすむ街』牧野知弘著. 中央公論新社, 2019.1. (中公新書ラクレ; 643)	3650:434
46	『金持ちは、なぜ高いところに住むのか: 近代都市はエレベーターが作った』アンドレアス・ベルナルト著; 井上周平, 井上みどり訳. 柏書房, 2016.6.	5200:599
47	『現代の差別と排除をみる視点』町村敬志 [ほか] 編著. 明石書店, 2015.3. (差別と排除の「いま」; 1)	3610:4125A
48	『パブリックスペースの現在: 危機とブームの狭間で』町村敬志編. 一橋大学大学院社会学研究科町村研究室, 2016.3. (リサーチアウトプット・シリーズ / 一橋大学大学院社会学研究科社会学共同研究室)	Az:618
49	『オープンスペースの社会学: 東京で/の「すきま」を探す』町村敬志編. 一橋大学大学院社会学研究科町村敬志研究室, 2004.3. (リサーチアウトプット・シリーズ / 一橋大学大学院社会学研究科社会学共同研究室)	Az:375
50	『で、オリンピックやめませんか?』天野恵一, 鶴飼哲編. 亜紀書房, 2019.8.	7800:2213
51	『現代オリンピックの発展と危機1940-2020: 二度目の東京が目指すもの』石坂友司著. -- 人文書院, 2018.1.	7800:2100
52	『反東京オリンピック宣言』小笠原博毅, 山本敦久編. 航思社, 2016.8.	7800:1964
53	『アセンブリ: 行為遂行性・複数性・政治』ジュディス・ハトラー著; 佐藤嘉幸, 清水知子訳. 青土社, 2018.2.	3160:1292
54	『社会学理論の再興: 社会システム論と再帰的自己組織性を超えて』遠藤薫, 佐藤嘉倫, 今田高俊編著. ミネルヴァ書房, 2016.12.	3610:4379
55	『都市の政治経済学』町村敬志編. 日本評論社, 2012.9. (都市社会学セレクション; 3)	3610:3608:3
56	『「世界都市」東京の構造転換: 都市リストラクチャリングの社会学』町村敬志著. 東京大学出版会, 1994.10. (社会学シリーズ)	3610:1126
57	『都市空間と市民社会組織の編成に関する研究: 首都圏市民活動調査から』山本唯人編. 一橋大学大学院社会学研究科町村敬志研究室, 2011.3. (科学研究費補助金萌芽的研究研究成果報告書; 2009~2010年度・評価国家の構造と動態: 「新しい介入主義」分析の構想)	Azc:422
58	『ロックフェスの社会学: 個人化社会における祝祭をめぐって』永井純一著. ミネルヴァ書房, 2016.10. (叢書現代社会のフロンティア; 23)	7600:1190
59	『ひとり空間の都市論』南後由和著. 筑摩書房, 2018.1. (ちくま新書; 1304)	3610:4764
60	『脱原発をめざす市民活動: 3・11社会運動の社会学』町村敬志, 佐藤圭一編. 新曜社, 2016.2.	5300:492
61	『イベントスペースの現在: 「東京イベントスペース2016」データ分析をもとに』町村敬志編. 一橋大学大学院社会学研究科町村敬志研究室, 2017.3. (リサーチアウトプット・シリーズ / 一橋大学大学院社会学研究科社会学共同研究室)	Az:663
62	『街念: 12通りの空間浴: 砂町銀座商店街・武蔵小山商店街調査報告書』町村敬志, 一橋大学社会学部町村ゼミナール編. 一橋大学大学院社会学研究科町村敬志研究室, 2011.7.	Az:547
63	『都市のアレゴリー』若林幹夫著. INAX出版, 1999.2. (10+1 series)	3610:1956
64	『プレイスメイキング: アクティビティ・ファーストの都市デザイン』園田聡著. 学芸出版社, 2019.6.	5100:2222
65	『公共R不動産のプロジェクトスタディ: 公民連携のしくみとデザイン』公共R不動産編; 馬場正尊 [ほか] 著. 学芸出版社, 2018.6.	5100:2261
66	『惑星都市理論 = Planetary urbanization theories』平田周, 仙波希望編. 以文社, 2021.4.	3610:4926